

2012年3月期 第2四半期（中間期）決算説明会

2011年10月28日



日本アビオニクス株式会社



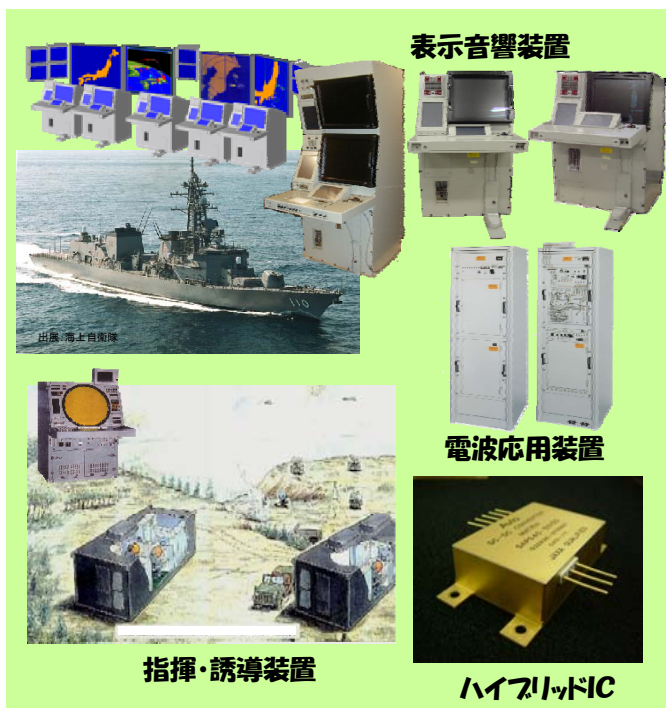
会社概要

- 設立 : 1960年4月8日 (NECとHughes Aircraft社との合併)
- 資本金 : 51億45百万円 (1988年2月、東証二部上場)
- 製品 : 情報システム、電子機器、
プリント配線板、赤外線・計測機器
- 従業員 : 1335人 (2011年9月連結)
- 代表取締役執行役員社長 : 山下 守
- 本社 : 東京都品川区西五反田
- 事業所 : 横浜事業所 (横浜市瀬谷区)
新横浜事業所 (横浜市都筑区)
- 主な子会社 : 山梨アビオニクス株式会社
福島アビオニクス株式会社
日本アビオニクス販売株式会社
NEC Avio赤外線テクノロジー株式会社
- 株主 : NEC : 50.004%、他 : 49.996% (普通株式 持株比率)
-

主要製品

情報システム

表示音響装置、
指揮・誘導装置、
電波応用装置、HIC



電子機器 プリント配線板

プロジェクタ、情報
福祉機器、接合機器、
高多層基板



赤外線・計測機器

赤外線機器、
工業計測機器





2012年3月期 中間決算のポイント

- 【売上高減少】** 前年同期比 $\Delta 12.9$ 億円($\Delta 8.7\%$)
- ・ 官需(情報システム) $\Delta 5.1$ 億円($\Delta 6.9\%$)
 - ・ 民需 $\Delta 7.8$ 億円($\Delta 10.5\%$)
- 【営業赤字】** 前年同期比 $\Delta 3.2$ 億円
- ・ 売上減に伴うGP減により赤字
- 【当期純利益赤字】** 前年同期比 $\Delta 2.2$ 億円
- ・ 連結剰余金残高がマイナス($\Delta 2$ 億円)
- 【CF黒字確保】** フリー・キャッシュ・フローは黒字確保(9.1 億円)
- (前年同期比 $\Delta 3.7$ 億円)
- 【Net D/Eレシオ改善】** 0.91 (前期比 0.08 改善)
- ・ 有利子負債残高 89.7 億円(前期比 $\Delta 19.9$ 億円)

(注) 記載金額は0.1億円未満を四捨五入しております。

2012年3月期 中間決算

(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
売 上 高	148.8	135.9	△ 12.9	△ 8.7%
営 業 利 益 (営業利益率)	1.9 1.3%	△ 1.4 △ 1.0%	△ 3.2 △ 2.3%	—
経 常 利 益 (経常利益率)	1.5 1.0%	△ 2.1 △ 1.5%	△ 3.5 △ 2.5%	—
当 期 純 利 益 (当期純利益率)	△ 1.6 △ 1.1%	△ 3.8 △ 2.8%	△ 2.2 △ 1.7%	—
1株当たり配当金	0.0	0.0	—	—

売上高

(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
情報システム	74.5	69.4	△ 5.1	△ 6.9%
電子機器	31.8	24.3	△ 7.5	△ 23.6%
プロジェクト他	9.1	8.0	△ 1.1	△ 11.8%
接合機器	22.6	16.2	△ 6.4	△ 28.4%
プリント配線板	19.5	21.3	1.8	9.3%
赤外線・計測機器	23.0	20.9	△ 2.1	△ 9.3%
計	148.8	135.9	△ 12.9	△ 8.7%

営業利益

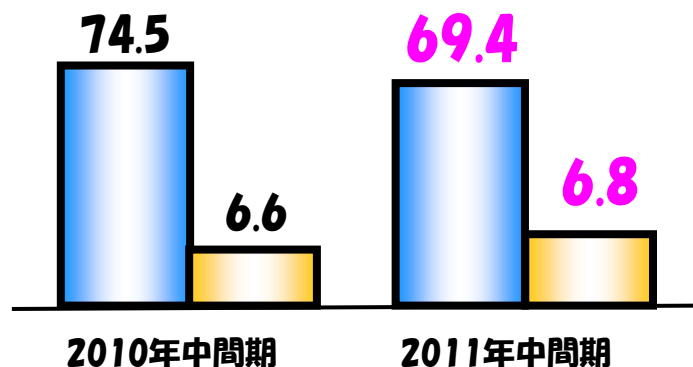
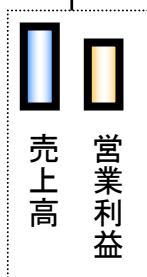
(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期		
	中間決算	中間決算	増減額	増減率
情報システム 営業利益率	6.6 8.8%	6.8 9.8%	0.2 1.0%	3.7%
電子機器 営業利益率	2.8 8.7%	0.5 2.0%	△ 2.3 △ 6.7%	△ 82.7%
プリント配線板 営業利益率	0.8 3.9%	0.9 4.1%	0.1 0.2%	14.3%
赤外線・計測機器 営業利益率	△ 2.2 △ 9.5%	△ 3.7 △ 17.8%	△ 1.5 △ 8.2%	—
その他・消去	△ 6.0	△ 5.8	0.2	—
計 営業利益率	1.9 1.3%	△ 1.4 △ 1.0%	△ 3.2 △ 2.3%	—

セグメント別業績サマリー

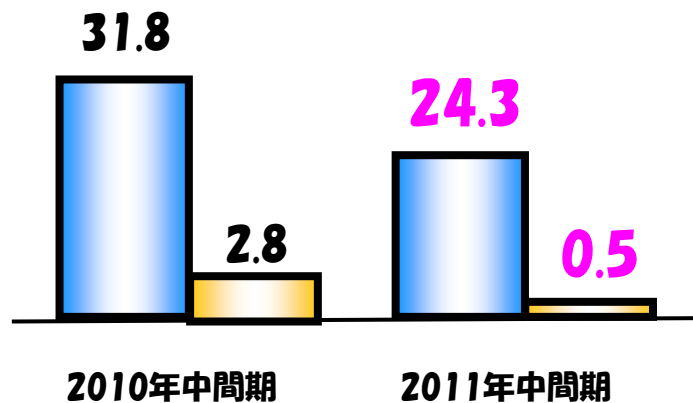
情報システム

億円



- 前中間期好調であった指揮・統制関連装置の売上高が減少
- コストダウン及び諸経費の節減により、営業利益は増加

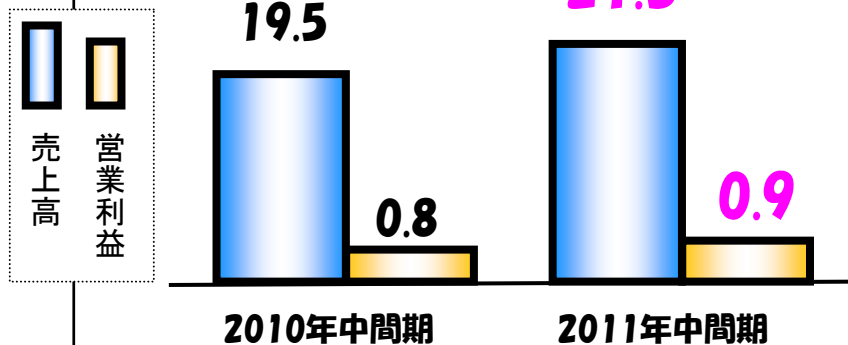
電子機器



- 国内外水晶メーカーの設備投資（小型携帯端末用）の一巡により接合機器の売上高が大幅減、プロジェクトも設備投資抑制により減少
- 売上減によるGP減により、営業利益は大幅減

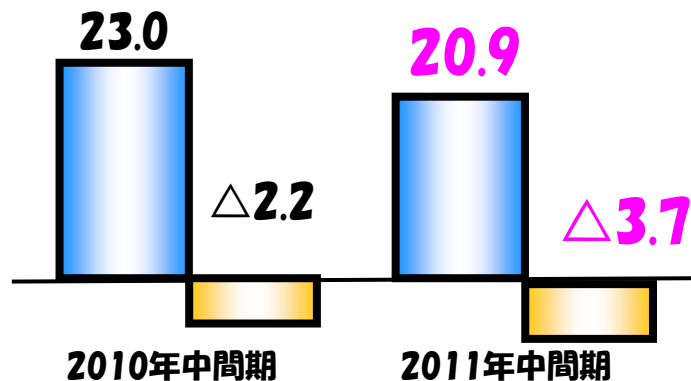
セグメント別業績サマリー

プリント配線板



- 半導体検査機器市場の回復に伴い売上高は大幅増加
- 生産面において、震災（計画停電等）による影響はあったものの、売上増に伴うGP増により、営業利益は増加

赤外線・計測



- 震災の影響による設備投資の抑制、売価の下落等により売上高は減少
- 売上高減少により、営業利益は大幅悪化

2012年3月期業績見通しのポイント

- 【売上高増加】** **前期比＋13.7億円（＋4.7％）**
- ・官需（情報システム）・・・前期比 △ 1.7億円（△ 1.1％）
 - ・民需・・・・・・・・・・ 前期比＋15.4億円（＋10.6％）
- 当初見通しに比し、赤外線・計測機器の大幅減により下方修正
- 【営業利益増益】** **前期比＋1.1億円（＋44.3％）**
- ・売上増に伴い増益を確保
- 当初見通しに比し、赤外線・計測機器の売上減に伴う利益減により下方修正
- 【当期純利益赤字】** **法人税等負担により当期純利益は赤字継続**
- 期末配当金については、事業環境が先行き不透明であるため、現時点では未定



2012年3月期業績見通し

(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期見通し				
		上期	下期		増減額	増減率
売上高	291.3	135.9	169.1	305.0	13.7	4.7%
営業利益 (営業利益率)	2.4 0.8%	△ 1.4 △ 1.0%	4.9 2.9%	3.5 1.1%	1.1 0.3%	44.3%
経常利益 (経常利益率)	1.4 0.5%	△ 2.1 △ 1.5%	4.1 2.4%	2.0 0.7%	0.6 0.2%	43.6%
当期純利益 (当期純利益率)	△ 1.8 △ 0.6%	△ 3.8 △ 2.8%	1.8 1.1%	△ 2.0 △ 0.7%	△ 0.2 △ 0.0%	—
1株当たり配当金	0.0	0.0		未定	—	—

売上高見通し

(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期見通し				
		上期	下期		増減額	増減率
情報システム	146.0	69.4	74.9	144.3	△ 1.7	△ 1.1%
電子機器	60.2	24.3	38.1	62.4	2.2	3.7%
プロジェクタ他	17.1	8.0	14.9	22.9	5.8	33.7%
接合機器	43.0	16.2	23.3	39.5	△ 3.5	△ 8.2%
プリント配線板	37.9	21.3	23.3	44.6	6.7	17.6%
赤外線・計測機器	47.3	20.9	32.8	53.7	6.4	13.6%
計	291.3	135.9	169.1	305.0	13.7	4.7%

営業利益見通し

(金額単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期見通し				
		上期	下期		増減額	増減率
情報システム 営業利益率	13.0 8.9%	6.8 9.8%	5.9 7.9%	12.7 8.8%	△ 0.3 △ 0.1%	△ 2.2%
電子機器 営業利益率	5.5 9.1%	0.5 2.0%	3.5 9.2%	4.0 6.4%	△ 1.5 △ 2.7%	△ 27.2%
プリント配線板 営業利益率	0.5 1.2%	0.9 4.1%	1.9 8.3%	2.8 6.3%	2.3 5.1%	505.1%
赤外線・計測機器 営業利益率	△ 4.4 △ 9.3%	△ 3.7 △ 17.8%	1.0 3.1%	△ 2.7 △ 5.0%	1.7 4.2%	—
その他・消去	△ 12.1	△ 5.8	△ 7.5	△ 13.3	△ 1.2	—
計 営業利益率	2.4 0.8%	△ 1.4 △ 1.0%	4.9 2.9%	3.5 1.1%	1.1 0.3%	44.3%

業績予想の修正

(金額単位: 億円)

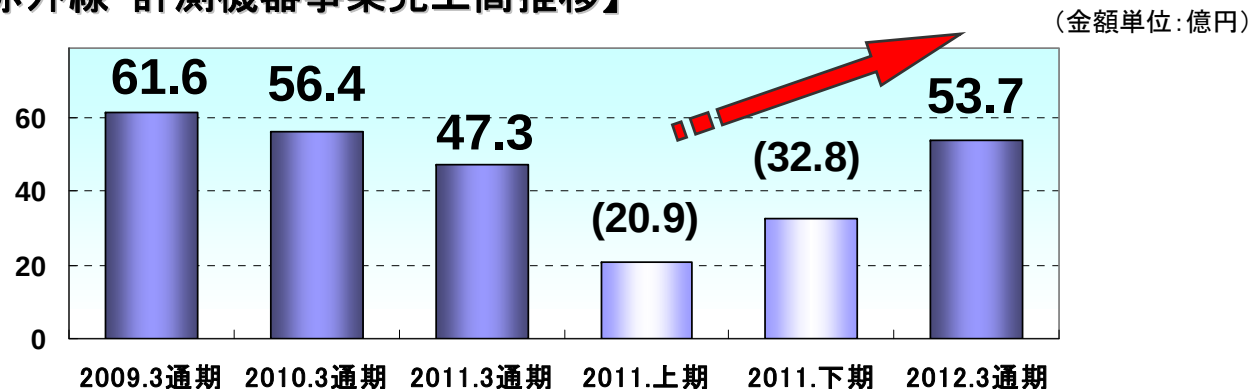
	2012年3月期		2012年3月期			
	中間期	当初見通し	中間期	今回見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	140.0	320.0	135.9	305.0	△ 15.0	△ 4.7%
営業利益 (営業利益率)	0.0 0.0%	6.0 1.9%	△ 1.4 △ 1.0%	3.5 1.1%	△ 2.5 △ 0.7%	△ 41.7%
経常利益 (経常利益率)	△ 0.7 △ 0.5%	4.5 1.4%	△ 2.1 △ 1.5%	2.0 0.7%	△ 2.5 △ 0.8%	△ 55.6%
当期純利益 (当期純利益率)	△ 2.5 △ 1.8%	0.5 0.2%	△ 3.8 △ 2.8%	△ 2.0 △ 0.7%	△ 2.5 △ 0.8%	

主として赤外線・計測機器の売上大幅減に伴う損益悪化
(当初見通し比 売上高△16.3億円、営業利益△3.0億円)

赤外線・計測機器事業の構造改革

赤外線市場は競争激化も、今後も成長市場と予測
一方、当社においては売上高は前期比割れが継続

【赤外線・計測機器事業売上高推移】



⇒ **事業基盤再構築に当社グループあげて取り組む**

- ・ グループ各社との連携強化

新製品開発体制の再整備

ものづくり改革・原価低減活動の加速

- ・ 組織のスリム化

⇒ **売上増・構造改革により下期営業利益の黒字化**

赤外線機器のラインアップ

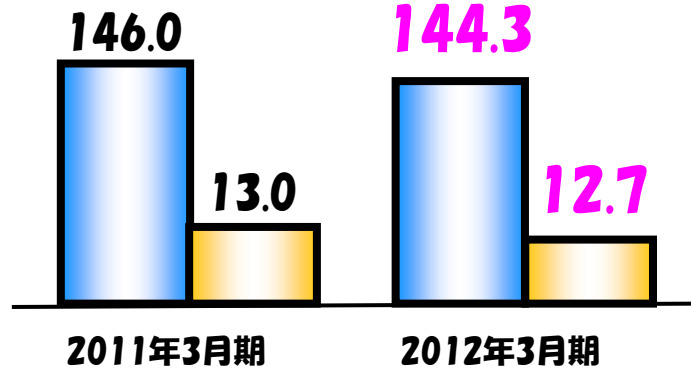
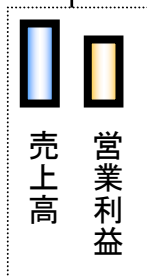
- ・ センサーからソリューションまで一気通貫のビジネス展開
- ・ 低画素からハイエンドモデルまでユーザーアプリにマッチした製品投入



セグメント別業績見通しサマリー

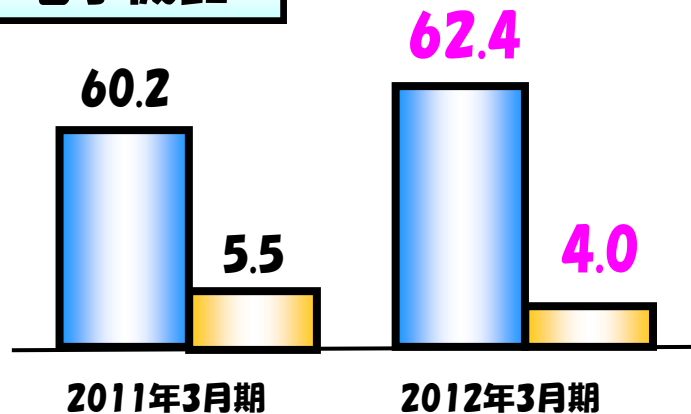
情報システム

億円



- 売上高は当初見通しに比し増加し、前期比微減水準まで回復
- 売上高の増加、諸経費の節減により、営業利益も前期並みを確保

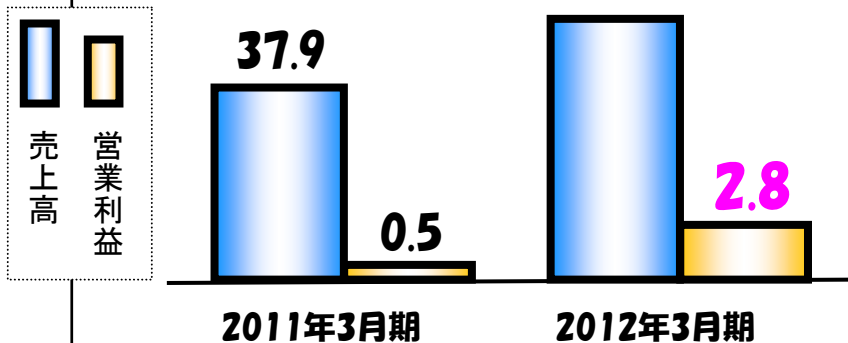
電子機器



- 売上高はプロジェクトの新製品投入効果及び福祉端末の大幅増により接合機器の減少カバー
- 売上増によるGP増はあるものの、新製品開発投資により営業利益は減少

セグメント別業績見通しサマリー

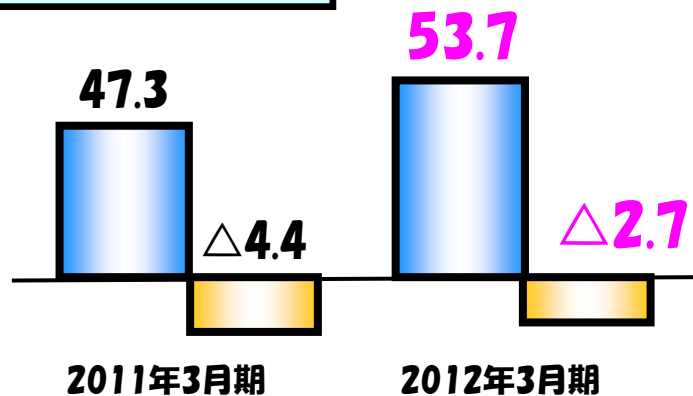
プリント配線板



➤メモリ市場に陰りはあるものの、半導体検査機器市場向けの増と新規顧客開拓により売上高は大幅増

➤売上増及びものづくり改革により営業利益は大幅増

赤外線・計測



➤新製品投入によるラインアップ強化及び販売店との更なる連携強化により売上高は増加

➤売上増及び構造改革により、下期の営業利益は黒字化し、通期赤字の縮小

下期の取り組み（まとめ）

情報システム

- 大型プロジェクトの着実なスタート
- 宇宙分野への取り組みの拡大
- 補正予算案件の確実な受注

電子機器

- プロジェクタ・情報福祉端末の拡販
- 接合機器の東南アジア諸国への拡販
- 新製品開発の着実な推進

プリント配線板

- ものづくり改革による収益体質の改善

赤外線・計測

- 新組織の垂直立ち上げによる新製品群の
タイムリーな市場投入
- 生産基盤の更なる強化

“市場創造型企業への転換”

『絶え間ない自己変革』
『枠を超えた挑戦』

- スピーディな事業展開
- グローバルに積極展開
- 事業体質のさらなる強化

グループ一丸となって邁進してまいります

本資料取扱上の注意

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでおります。

そのため、実際の業績は、今後の事業領域を取り巻く経済状況、市場の動向により、記載された業績見通しとは異なる場合がありますことをご承知おきください。

